

(様式 13)

氏名(本籍) 上田 隼也 (奈良県)  
学位の種類 博士(歯学)  
学位記番号 甲 第381号  
学位授与日 2021年3月15日  
学位授与の要件 博士の学位論文提出者(学位規程第11条第1項該当者)  
学位論文題目 繰り返し荷重負荷がインプラント-アバットメント接合部封鎖性に与える影響

論文審査委員 (主査)教授 申 基喆  
(副査)教授 大森 喜弘  
(副査)教授 藤澤 政紀  
(副査)教授 日比野 靖

#### 論文内容の要旨

インプラント-アバットメント接合部 (IAI) 封鎖性が低下することで IAI への細菌侵入量が増加し、インプラント周囲炎発症のリスクとなることが示唆されている。本研究では、インプラントに対する疲労試験の国際標準規格 (ISO14801) に準拠した繰り返し荷重負荷試験を行い、荷重負荷前後の IAI 距離、プラットフォーム内径、および IAI からの細菌侵入量の変化を検討することとした。チタン合金と純チタンで製作した同形状のインプラントに対して、繰り返し荷重をアバットメントに負荷し、荷重負荷前後の IAI 距離およびプラットフォーム内径を測定した。また、荷重負荷前後の試料を標準菌液に浸漬し、インプラント体内部に侵入した細菌数を測定した。その結果、IAI 距離、プラットフォーム内径、および IAI からの細菌侵入量は、チタン合金、純チタンともに荷重負荷後の方が増加し、その増加量は純チタンの方が大きかった。結論として、繰り返し荷重負荷は IAI 封鎖性を低下させ、インプラント周囲炎発症の一因となる可能性が示唆された。

#### 論文審査および試験結果の要旨

本論文は、繰り返し荷重負荷が IAI 封鎖性に与える影響を検討したものである。本論文の結果から、荷重負荷前後で IAI 封鎖性が低下し、インプラント周囲炎発症の一因となる可能性が示された。明海大学大学院歯学研究科歯学専攻 上田隼也に対する最終試験は、2020年11月5日、主査 申基喆教授、副査 大森喜弘教授、藤澤政紀教授、日比野靖教授の4名により行われた。論文審査ならびに専攻学術に関し、口頭試問をもって実施し、合格と認めた。また、上田隼也の語学試験は、大学院入学試験の外国語試験の結果をもって合格とした。

よって、申請者：上田 隼也は、博士(歯学)の学位を授与されるに値するものと判断した。